

土木学会中部支部「出前講座」広報活動の実績と課題

大同大学
名古屋工業大学

正会員
正会員

○木全 博聖
永田 和寿

大成建設株式会社
土木学会中部支部

正会員
事務局

加藤 克明
瀬瀬 育子

1. はじめに

土木学会中部支部は、「出前講座」という市民向けの講座を開設し（担当＝広報 WG）、依頼に応じて支部会員が講師として各地へ出向き、土木事業に対する市民の理解を得るための広報活動を展開している（写真-1）。本稿では、土木学会中部支部のこの活動内容およびその課題について論じる。

2. 「出前講座」の実績（平成 25～30 年度）

表-1 に示すように、中部支部は平成 25～30 年度の 6 年間で計 84 件の出前講座を開講した。この間に講座を担当した 38 名の講師のうち 29 名は大学・工業高等専門学校教員であるが（名誉教授含む）、7 名は企業、2 名は自治体に所属している。

出前講座は、対象を「小学生向け」「中学生以上」「高校生以上」「一般向け」に分類しているが、6 年間に実施した出前講座の対象の割合は、図-1 に示す通りである（ただし、これは依頼団体の種別からおおよそ算出したものであり、実際の参加者の割合を正確に表したのではない）。

図-2 は、6 年間に実施した出前講座の領域の割合を示したものである。近年の関心の高まりに合わせて、防災に関する講座が数多く開講されている。

3. 令和元年度「出前講座」の実績

令和元年度の出前講座は計 17 回開催され、合計 2,132 人の市民に参加していただいた。1 回平均は約 125 名となるが、これは参加者が 100 名を超える大講座が計 5 回開催されたことが影響している。100 名以下の講座の参加者数は、平均約 38 名であった。

出前講座の終了後、参加者にアンケートに答えてもらっているが、図-3 は回答者の属性（職業・年齢層）の割合を示したものである。アンケートは参加者の一部から回答を得ているため（各回 50 名が上限）、この図は実際の参加者の割合を正確に示していないが、依頼団体の種別およびアンケートの回収比率などから、令和元年度の出前講座の参加者は小学生以下が約 4%、高校生が約 70%、一般（大人）が約 25%であり、中学生の割合は 1%前後と推定される。学習指導要領等の改定が影響しているためか、小・中学生、特に中学生の参加者が減少している点は問題である。小学校は平成 27 年度以降、中学校は平成 29 年



写真-1 「出前講座」の実施状況

表-1 「出前講座」の開講実績（平成 25～30 年度）

平成 25 年度（2013）	12
平成 26 年度（2014）	15
平成 27 年度（2015）	11
平成 28 年度（2016）	9
平成 29 年度（2017）	14
平成 30 年度（2018）	23
合計	84 件

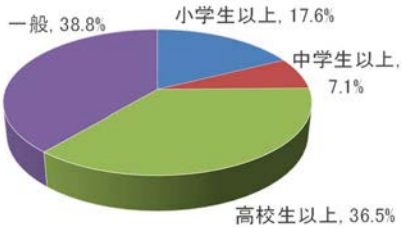


図-1 「出前講座」の対象（平成 25～30 年度）

度以降、開催実績がゼロである（ただし、小学生については学童保育団体からの開催依頼は多い）。

参加者アンケートの集計結果の一部を、図-4～図-6に示す。

図-4は「理解度」（設問『今回の講座の内容はよくわかりましたか』）、図-5は「満足度」（設問『今回の講座について満足しましたか』）に関する回答結果をそれぞれ示しているが、「よくわかった／わかった」「おおいに満足した／満足した」の割合の合計が80%を越えていることから、参加者の好評を概ね得ていることがわかる。

図-6は、『どのようなテーマに興味がありますか』という質問に対する回答の割合である。令和元年度の出前講座は17件中14件が防災に関連するテーマであったため、アンケート回答者の意識の高さも影響していると考えられるが、現在の市民が「防災・災害」に圧倒的な興味関心を持っていることは明らかである。

4. 今後の課題

多くの参加者から好評を得ている土木学会中部支部「出前講座」であるが、令和元年度の参加者アンケートの分析等を通じて、いくつかの課題が明らかとなった。それを以下に列挙する。

(1) **大講座に対するフォロー** 参加者数が増えるほど「理解度」「満足度」などの評価が低下する傾向にある。特に大講座を開催する際は、支部広報WGメンバーが依頼者との事前打ち合わせを実施したり、講師に対する講演前あるいは講演中のフォローを行うことが望ましい。

(2) **中学生との接点を探る** 高等学校には、授業の一環として出前講座を積極的に活用していただいているが、中学校でも同じように実施できる余地があれば、中学校に対する広報を積極的に展開する。また、支部会員が所属する工業高等専門学校オープンキャンパスや地元市民向けイベント等に参加（共催・支援）するなどの方法で、中学生やその家族との接点を探る。

(3) **出前講座のメニュー（テーマ）の追加・開発** 市民の関心の高い「防災」に加え、市民がその重要性にあまり気付いていない領域に関する講座を開催できるよう、支部会員に依頼する。

(4) **講師に対するアンケートの実施** 出前講座を実施する上で講師が困っていることなどを、アンケートや聞き取り調査等を通じて収集し、それぞれの善後策を講じる。

(5) **講師向け「手引き」の作成** 参加者アンケート（特に自由記述）を分析して、参加者の評価の高い／低い講座の要素が明らかとなれば、それらを留意点としてまとめた「手引き」を作成し、講師に配布する。

謝辞 出前講座に参加していただいた市民・団体・学校の皆様に感謝を申し上げますとともに、多忙な中、講師を務めていただいた土木学会中部支部会員の皆様に御礼申し上げます。

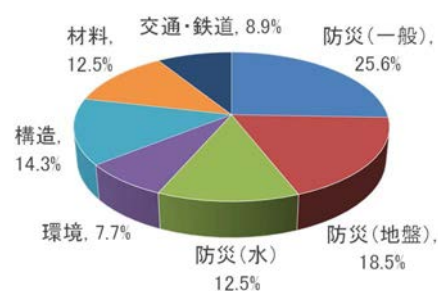


図-2 「出前講座」の領域（平成25～30年度）

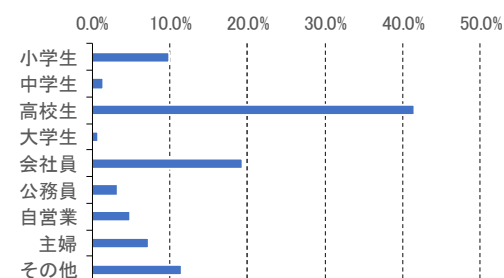


図-3 アンケート回答者の属性（令和元年度）

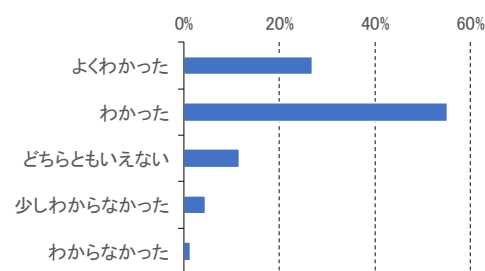


図-4 「理解度」の結果（令和元年度）

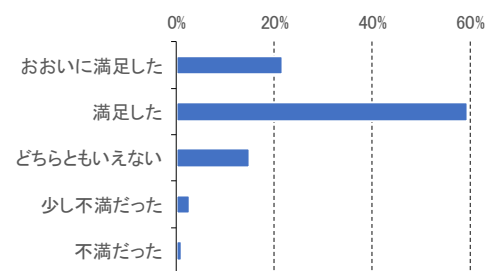


図-5 「満足度」の結果（令和元年度）

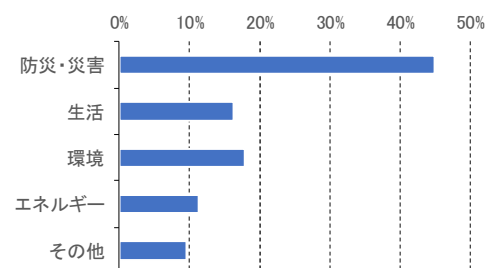


図-6 「興味のあるテーマ」の結果（令和元年度）